

黎明

仙台市立錦ヶ丘中学校

第一学年 No. 6

臨時休業中の思い



今週の学活で、この3ヶ月の休業中どのような思いで過ごしていたのかを振り返り、作文を書きました。今思っていることを、しっかりと文章で表現していました。その中から、何名かの作文をご紹介します。それぞれが様々な思いで過ごしていたのが、よく分かりました。生徒のみなさんの思いを私たち教員もしっかりと受け止め、この先の中学校生活が充実したものになるよう、努めていきたいと改めて思いました。



いつもの平日なら「学校に行きたくない」「面倒くさい」とか、とにかく学校がいやだと思っていました。でも、今回の臨時休業中は違って「友だちに会いたい、だから学校に行きたい」そう思う毎日でした。卒業式の日や予備登校日、それが自分の支えでした。「友だち」がこんなにも大事なものだと気付きました。この臨時休業中に「友だちの大切さ」に気付いたので「友だちを大切にしたい」と思うようになりました。「学校はいやだな、行きたくないな」と思うことが少しだけあるけど、「友だちに会いたい」という思いが少しだけあるけど、「友だちに会いたい」という思いが増えました。友だちとの出来事を思い出して、ひまだという思いと友だちに会いたい、楽しみという思いがこの臨時休業中にありました。

ぼくは、とても不安でした。勉強に追いつけなかったらどうしよう。生活リズムが戻らなかったらどうしよう。ぼくたちは、このままどうなるのだろう。そんな気持ちでいっぱいでした。そんな時でも、友だちと遊んで、笑って、その気持ちがとても楽になったりしていました。そして日に日に、はやく学校が始まらないかなという気持ちでいっぱいになりました。そして、学校が始まり、仲良くしていた友だちと同じクラスだと分かったとき、曇っていた心が晴れたような気がしました。クラスのみんなと始まった新しい学校生活。今までの疲れが一気に吹き飛ばくらい楽しかったです。これからも、このクラスで楽しく学校生活をしていきたいです。

3月・・・学校に行きたくてしかたがなかった。少しさみしかった。あと2週間学校に行かせてほしかった。卒業式は親に来てもらいたかった。門出の言葉をやりたかった、写真をたくさん撮りたかった、予備登校は、みんなが一気に登校して、いっぱい話したかった。

4月・・・入学式して休みでもいいから、桜が散る前に入学式をしたかった。3月より少し気持ちも明るくなって、休みを有効に使おうとそれなりに楽しんだ。でも、友だちに会いたかったし、学校に行きたかった。

5月・・・そろそろ学校が始まると思っていたら、また延期で4月の初めに戻った。でもその後、やっと分散登校でき、クラスもわかってほっとしていた。友だちにも会えて、楽しくて早く学校に行けることがどれだけ幸せなことかが分かった。



最初の臨時休業のときは普通に喜びました。私は家でテレビを見たり、漫画を読んだりすることが好きだからです。その次の臨時休業ときも、正直「やったー」となりました。これでまた、漫画やテレビを見て楽しい毎日が続くと思っていました。が、夏休みが減ることを知って「コロナ、早く終われ」という気持ちに一瞬でなりました。コロナのせいで漫画の発売日や映画が延期になったり、計画していた旅行が中止になったり、有名人が亡くなったりと最悪なことがたくさんありました。けれど、これで病気の恐ろしさや毎日の幸せに気づけたと思います。

時間が流れるのが怖くなったりしました。こんなにぼーっとしてていいのかと、やることがないか心配でした

小学校がある日突然行けなくなりました。その日に「明日から学校に来られない」と言われたときはびっくりしました。最初は、こんなにも休みが長くなると思いませんでした。休みが始まった3月から4月ころは「暇だな」としか思っていなかったけれど、休みが長くなるにつれて、「友だちに会いたいな」そんな思いが強くなりました。いつもは当たり前のように過ごしていたけれど、それは当たり前ではないんだなと感じました。それから私は、当たり前のことに感謝しようと思いました。つらいことなんてたくさんあったけど、この長い休みでいろいろなことを考えさせられました。

いつになったら学校に行けるのか、いつになったら友だちに会えるのかおっても不安だったし、さみしかったです。外でも遊べないし、友だちに会えないのがとても苦勞でした。だからこそ、今年はみんなとの時間を大切に過ごしたいなと思いました。

習い事で予定していた試合や卒団式もなくなり、卒業式まで親が来られなかったりなど、とても残念な事だらけでした。しかし、自分を見つめ直し、自分を改善する時間にしてはとても良かったと思います。例えば私は、体が硬く、足を開いて前に倒れるときも、手がやっとゆかにつくほどでしたが、毎日毎日ストレッチをしていたら、おでこがゆかにつく位まで柔らかくなりました。このような事が増え、この臨時休業中に自分自身がレベルアップできたなと思っています。ですが、毎日同じ事を続けているとテンションがさがり、生活バランスもどんどん悪くなってしまったので、学校が早く始まってほしいという気持ちがとても強かったです。

医療関係者のみなさんと、こんな状況でも働いてくださっている人たちへ、感謝しながら過ごしていました。本当に大変な状況で、友だちにも会えない、県外に行けないってなって、芸能人の人たちも世界中の人たちが困っているなか、医療関係者のみなさんのおかげで、助かる命があるので、本当に感謝しています。自分も何かできることがあればやっていたけれど、今できることは家にいることだと思います。

放課後消毒ボランティアのご協力ありがとうございます

6月半ばから保護者の皆様には、放課後に教室の消毒作業にご協力いただいております。お忙しいところ本当にありがとうございます。おかげさまで、毎日生徒たちも安全に生活することができております。この消毒作業等含め、まだまだ感染症への対応が、求められております。私たちも、日々の生活の中、生徒たちが、安全に安心して生活できるよう努めてまいります。引き続きご協力をお願いします。



また,熱中症も心配される時期になりました。こちらも気をつけていきたいと思います。